



かすがい 市議会 だより



第61号
2010年11月

フォリー・柳と蛙 東野町西1丁目 三又ふれあい公園内)

三又ふれあい公園にある「フォリー・柳と蛙」。写真右上に写っているオブジェは柳を表しており、それに飛びつこうとするカエルがいる、遊び心の詰まった遊具です。

平成21年度歳入歳出決算を認定 補正予算・条例案・一般議案等15件を可決・同意

平成22年 第4回定例会

平成22年第4回定例会は、9月9日から9月30日までの22日間の会期で開催されました。定例会には、決算14件、補正予算案4件、条例案5件、一般議案1件、報告8件、人事案件3件、議員提出議案1件が提出され、認定・可決・同意されました。

また、「学級規模の縮小と義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願書」1件が採択となりました。

なお、一般質問は9月27日と28日に18名の議員が市政の課題について、市の考え方をたしました。



一般会計決算

世界同時不況の中、社会経済活動が落ち込み、事業所税が新たに加わったものの、法人市民税が12億円を超える減収となるなど、市税全体で10億円の減収となりました。歳出は、雇用機会の減少から生活保護費が大きく増加し、福祉や医療など社会保障費も大きな伸びとなりました。

一般会計の歳入は843億392万6,172円で、前年度比0.2%増加し、歳出は823億6,565万7,303円で、前年度比5.1%の伸びとなっています。実質収支は18億7,048万5,499円の黒字決算となりました。

【総務費】定額給付金給付事業、土地開発公社経営健全化計画に基づく行政財産購入費、土地開発公社補填金などで、路線変更によるシティバスの運行、新型インフルエンザ対策用物品の備蓄などを行いました。

【民生費】生活保護費、児童手当・特例給付、国

民健康保険事業特別会計繰出金などで、地域福祉計画の改定、味美保育園整備等を行いました。

【衛生費】クリーンセンター管理費、清掃総務費、健康診査などで、不法投棄防止事業、妊婦・乳児健康診査事業などを行いました。

【商工費】商工業振興資金融資、企業立地等支援事業などです。

【土木費】公共下水道事業特別会計、勝川駅周辺総合整備事業特別会計などへの繰出金、市道、側溝整備、公園児童遊園管理費などです。

【教育費】小中学校への情報通信機器の設置、小学校の校庭の芝生化事業、校舎耐震補強工事などを行いました。

また、国の緊急経済対策に呼応した事業では、緊急雇用創出基金事業などの基金事業を実施し、雇用の確保、商工業事業者の経営安定に努めました。

特別会計・企業会計決算

特別会計決算

国民健康保険事業特別会計は16億3,471万3,358円の赤字決算となりました。赤字額は前年度に比べ6億7,016万5,095円(29.1%)改善されました。

後期高齢者医療事業特別会計は8,248万800円の黒字決算となり、ほかの9事業は黒字決算ないしは収支同額となりました。

特別会計の合計では、実質収支が12億8,068万2,251円の赤字となりました。

企業会計決算

市民病院事業会計は、2億366万8,597円の純損失となりましたが、患者数の増加及び診療単価の上昇、職員による収益確保に向けての業務遂行の結果、前年度から8億6,236万4,009円の改善が図られました。水道事業会計は、節水型機器の普及や水道管の耐震化などから3億8,554万654円の純損失となりました。

補正予算案

平成22年度一般会計補正予算

財政調整基金積立金として9億3,500万円、老人福祉施設整備や市道側溝整備、狭あい道路整備などに1億384万円、河川整備や土地区画整理事業の組合運営費、私立高等学校授業料補助金などに5,410万円など、総額で11億4,012万5,000円を補正するものです。

平成22年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

後期高齢者医療広域連合納付金として8,248万1,000円を補正するものです。

平成22年度老人保健医療事業特別会計補正予算

支払基金及び国、県への返還金として1,387万1,000円を補正するものです。

平成22年度介護保険事業特別会計補正予算

介護給付費準備基金積立金及び国等への返還金として1億3,966万6,000円を補正するものです。

条例案

出張所設置条例等の一部を改正する条例

神領、大留上、南気噴土地区画整理事業の換地処分に伴い、高蔵寺出張所の所管区域に、気噴町2丁目から6丁目までと、大留町8丁目及び9丁目を加えるものです。また大留住宅、神領保育園、神領子どもの家、神領小学校など公共施設の所在地を改めるものです。

火災予防条例の一部を改正する条例

複合型居住施設の住宅部分に複合型居住施設用自動火災報知設備を設置したときは、住宅用防災警報器又は住宅用防災報知設備を設置しないことができることとするものです。

施行日 平成22年12月1日

市民球場条例の一部を改正する条例

市民球場に指定管理者制度を導入するため、指定管

理者が行う管理業務の範囲を、利用許可等に関する業務、使用料・利用料金の收受等に関する業務、点検整備・運転監視・清掃・保安警備・修繕その他の維持管理に関する業務とするものです。

施行日 平成23年4月1日

私立高等学校授業料の補助に関する条例の一部を改正する条例

補助対象者を市民税の所得割額が1万8,900円以上24万4,500円未満の者とし、補助金額を年額1万円に改めるものです。

児童遊園の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例

大留上および神領土地区画整理事業の換地処分等に伴い、大留児童遊園を廃止し、六反田第2児童遊園と神領住宅児童遊園の所在地を改めるものです。

一般議案

消防自動車の購入契約

平成7年に購入した北出張所(田楽町)配備の消防ポンプ自動車を更新するものです。

契約金額 3,517万5,000円

相手方 株式会社モリタ名古屋支店

請願審議

第4回定例会に、1件の請願が提出され、委員会に付託し、審査しました。その後、本会議で委員長の審査結果報告の後、採決し、その結果は次のとおりです。

学級規模の縮小と義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願書.....採択

人事案件

本間副市長退任に伴い、副市長に中村幹雄氏、任期満了に伴い、教育委員会委員に木股哲夫氏、公平委員会委員に佐藤隆氏の選任に同意しました。

議員提出議案

9月30日に意見書1件を議員提案し、原案のとおり可決した後、地方自治法第99条の規定により関係行政機関へ提出しました。その全文は次のとおりです。

学級規模の縮小と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、すべての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成にむけて真摯に取り組んでいるものの、いじめや不登校、非行問題行動を含めた、子どもたちをとりまく教育課題は依然として克服されていない。また、特別な支援を必要とする子どもや日本語教育の必要な子どもが依然多く、適切な支援を行うための十分な時間が確保で

きないなどの課題にも直面している。これらの解決にむけ、子どもたちにこれまでも増してきめ細かに対応するためには、学級規模の縮小は不可欠であり、標準定数法を改正し、国の財政負担と責任で学級規模の縮小に取り組むべきである。

また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、二分の一から三分の一に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。子どもたちが全国各地に住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受

けられることが憲法上の要請であり、そのために、義務教育費国庫負担制度を堅持すること、また、国庫負担率を二分の一へ復元することは、国が果たさなければならない大きな責任の一つである。

よって貴職においては、平成23年度の政府予算編成にあたり、国段階における学級規模縮小の実現と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率二分の一への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

第 4 回 定 例 会

上 程 議 案 と 審 議 結 果

決 算.....14件

平成21年度一般会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成21年度公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成21年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度民家防音事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度潮見坂平和公園事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度春日井都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成21年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成21年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成21年度春日井市民病院事業会計決算	認定(全会一致)
平成21年度水道事業会計決算	認定(賛成多数)

補正予算案..... 4 件

平成22年度一般会計補正予算	原案可決(賛成多数)
平成22年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)

平成22年度老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)
平成22年度介護保険事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)

条例案..... 5 件

出張所設置条例等の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
市民球場条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
私立高等学校授業料の補助に関する条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
児童遊園の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)

一般議案..... 1 件

消防自動車の購入契約	原案可決(全会一致)
------------	------------

人事案件..... 3 件

副市長の選任の同意	同意(全会一致)
教育委員会委員の選任の同意	同意(全会一致)
公平委員会委員の選任の同意	同意(全会一致)

議員提出議案..... 1 件

学級規模の縮小と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書	原案可決(全会一致)
------------------------------	------------

一般質問

市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、18名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、32項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。（一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。）



1 小中学の統廃合の協議内容について

質問者 白田 孝治

質問 現在、過小規模の藤山台小学校を解消するため、藤山台中学校区内において、地域協議会を設置し、具体的な方策について意見の集約が行われているが、これに合わせ、白山町の4小学校、3中学校へ登校している実情を見直し、当該地区のコミュニティの育成に配慮した校区編成にできないか。

担当 学校教育課

【答弁】藤山台中学校区内における小学校規模適正化に向けた具体的な方策を協議するため、地域協議会を設置しました。この協議会は、藤山台中学校区の小学校規模適正化に向け、早急な対応が必要である事項や今後さらに検討を進めるべき事項などについて、意見をまとめていくためのもので、他の中学校区を含めた通学区域の見直しについては、通学区域審議会など別の場において検討すべき課題と認識しています。



2 児童虐待の予防について

質問者 山際 喜義

質問 児童虐待予防として、虐待リスク要因の高い家庭を早期に把握し適切な支援を行う必要がある。現行の家庭訪問支援事業に併せて、キャプナが推進している虐待のリスク・アセスメントを用いた虐待予防プログラムの導入について、又、しつけなど子育てに悩む親のために、暴力や暴言を用いず親子のコミュニケーションを図るためのCSP講座の開催について問う。

担当 子ども政策課

【答弁】虐待のリスク・アセスメントを用いた両親調査は、リスク要因を持つ家庭のスクリーニング効果と虐待の未然防止効果が高いプログラムであると聞いているため、今後調査研究していきます。また、被虐待児の保護者支援であるコモンセンス・ペアレンティングは、親子のより良いコミュニケーションの形成と、親子双方の成長にも寄与できるプログラムのひとつとして、調査研究していきます。

その他の質問事項 高森山公園の管理について

3 イクメンについて

質問者 小原 はじめ

質問 厚生労働省は、男性の子育て参加や育児休暇取得の促進等を目的としたイクメンプロジェクトを発足させた。昨今は育児を積極的にする男性「イクメン」が話題となっているが、まだまだ一般的ではない。イクメンプロジェクトの企業への推進について。男性の積極的な育児参加は、少子化解消等に大きく効果があると思うが、市の考えを問う。

担当 経済振興課・子ども政策課

【答弁】市ホームページにおいてイクメンプロジェクトの周知を図るとともに、機会を捉えて商工会議所の会合などでプロジェクトの説明を行うなど、男性の子育て参加や育児休業取得への社会的な機運の醸成を図っていきます。「かすがいっ子未来プラン」では、「男女共同の子育ての推進」を掲げており、男性が子育てを楽しむイクメンの増加は、出生率の回復や女性の就業率の向上にも効果が考えられるため、啓発や効果的な事業を研究していきます。

その他の質問事項 個人情報保護について

4 受動喫煙防止対策について

質問者 中藤 幸子

質問 タバコの副流煙には、主流煙より濃度の高い有害物質が入っており、タバコを吸う人よりも周囲への健康被害が指摘されている。2月の厚生労働省健康局長の通知を受け、周辺の自治体では積極的な「受動喫煙防止対策」が始まっている。春日井市においても、公共施設の敷地内禁煙に取り組むべき時期に来ている。敷地内禁煙と職員の禁煙支援についての考えを問う。

担当 人事課

【答弁】本年2月にありました厚生労働省の通知の趣旨を尊重し、各施設の状況を勘案し、関係部署間で協議しながら、現在検討を行っています。今後、これまでに出示された意見を集約し、来年4月を目途に本庁の建物内全面禁煙について協議を進めていくこととしています。また、来年1月から禁煙を希望する市職員に対して、平成20年度に行った「禁煙教室」と同様の人事課保健師による禁煙指導を行う予定です。



5 期日前投票所の増設について

質問者 丹羽 一正

質問 選挙があると必ず話題になるのが投票率です。公職選挙法の改正により、期日前投票制度が設けられ、投票手続きの簡略化等に伴い、利便性が向上し、利用者が増加している。さらに、より便宜を図るため、現在の市役所本庁と東部市民センターの2か所に加え、もう1か所、西部地区に期日前投票所を増設し、地区住民の利便性の向上を図る考えはないかを問う。

担当 総務課

【答弁】市役所が市のかなり西に位置することから、地理的なバランスを考慮し、2か所で行っています。仮に西部地区に1か所増設した場合、現在の東西に均衡の取れた配置が、地理的に偏った状態になります。また、選挙執行費用の抑制化が求められる中での費用の増額や立会人の確保の問題といったことも生じますので、今後も現在の2か所で行っていきたいと考えています。



6 小中学校の校舎について

質問者 伊藤 建治

質問 今年の夏は激しい猛暑となり、9月以降も連日35度を超えた。小中学校の普通教室には空調設備がなく、過酷な暑さの中、授業を受けなければならない。子どもたちの健康を守るために、空調設備を設置する必要があるが、どう考えるか。また、図工室、理科室には扇風機もない。何も暑さ対策がない教室については、せめて扇風機の設置をしてはどうか。

担当 教育総務課

【答弁】小中学校の普通教室の全教室には、現在、壁掛け式の扇風機を4機ずつ設置しています。空調機を全普通教室へ設置するには膨大な予算が必要となりますが、校舎の耐震工事を優先して進めなければならないため、当面は扇風機の活用のほか、冷却剤や飲料水などの対策用品の準備に努め、児童生徒に対し水分補給などの徹底を図っていきます。また、図工室、理科室などには、今後、各校の要望調査などを踏まえ、扇風機の設置を検討していきます。

その他の質問事項 保育園給食について
JR春日井駅について

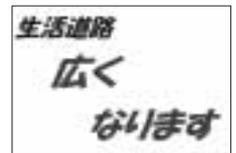
7 街づくり支援制度について

質問者 熊野 義樹

質問 昨年、春日井市独自の「街づくり支援制度」が策定され、庄名地区と牛山区東脇地内における街づくり推進団体（東脇地区街づくり協議会）の2地区が認定された。この制度は市街化調整区域等で狭隘道路の多い地区の為に作られた制度ですが、現在進行中の牛山区東脇地区の、市との協働による整備の経過と道路整備に向けてどのように進められていくのかを問う。

担当 都市政策課

【答弁】牛山区東脇地区の街づくり協議会については、今年の1月に推進団体として認定を受けられ、その後、月に数回の割合で道路の拡幅整備に向けた協議を市と共に重ねてこられました。今年の7月には整備計画を市へ提出され、それを受け、現在、市の方で測量などの調査を行っています。今後は、これに引き続き地元の方々の協力を得ながら境界確定や用地買収などを行い、道路の整備を行っていきます。



8 高齢者の生活支援について

質問者 田中 千幸

質問 私に、東部丘陵地帯の高齢者の方からゴミ排出支援と買い物支援のご相談が寄せられる。この二つの課題に対して全国の自治体でも様々な取り組みが始まっている。本市では、ゴミ排出支援では、さわやか収集を行っているが、その対象となる条件を広げることにはできないか。また、高齢者に対する買い物支援については現状及び今後の対応を問う。

担当 高齢福祉課・清掃事業所

【答弁】さわやか収集については、高齢者の世帯で、本人の身体状況等によりごみの排出が困難と判断される世帯に対しては、要件である介護や障がいの認定を受けていない場合にも収集を行っており、高齢者の生活実態に即した対応に努めています。買い物支援については、要介護認定者には、介護保険の訪問介護の中で、また、ひとり暮らし高齢者には、にこにこホームヘルパーを派遣し、買い物支援を行っています。今後は、地域の共助による、きめ細かい対応策を研究してまいります。



9 まちづくりの進展に伴う、シティバス路線の拡充について

質問者 佐々木 圭祐

質問 昨年、見直しのあった、かすがいシティバスは西環状線では、二子山公園から市民病院と市役所を結ぶ、左回りと右回りの2路線で運行され、一年近くたちました。高齢者の方など、市民のバスの利用状況と今まで、バスが通れなかった地域が、勝川駅周辺整備によって大きく変貌したことで、今後、地域ニーズに対応したバス路線網の検討について問う。

担当 交通対策課

【答弁】シティバスは、新しい路線で運行を開始して1年と間もないことから、まずは現路線の利用促進に努めています。

しかし、勝川駅周辺の街の形態も大きく変貌していることから、今後のシティバスの見直しでは、これら社会環境の変化を見極めながら、市民の皆様にとって利用しやすいバス路線網の充実を目指していきます。



10 女性特有のがん対策への今後の取り組みについて

質問者 石原 めいこ

質問 子宮頸がんは「ワクチン」と「定期的な検診」の両方によってほぼ予防できる。子宮頸がんの予防に国として来年度予算の概算要求に約150億円を盛り込む方針を発表した。検診と予防で全ての女性が健康で生き生きと生活できるように「女性応援団」として女性特有のがん検診推進事業の継続と、子宮頸がんワクチンの予防接種の公費助成の導入について問う。

担当 健康増進課

【答弁】自治体に補助金を交付するという国の女性特有のがん検診推進事業の動向に注視し、この補助制度を活用することで、検診の推奨とがん予防の啓発について努めていきます。また、子宮頸がんワクチンは、国で定期接種化についての議論が行われており、国の平成23年度予算の概算要求に、市町村への助成措置が上げられていますので、これらの動向に注視しながら、引き続き、公費助成の必要性を検討していきます。



11 こども広報の意義と子どもたちによる政策提言について

質問者 安達 かよ

質問 こども広報が7月に創刊された。市長と児童の対話のもとになった広報誌として、内容も素晴らしい魅力的な記事となっている。市民等の反響について問う。今後、子ども達が自ら記者になって、テーマを決め取材・編集していく構想は考えられないか。こども広報の発行を機に、子ども達による政策提言を市政のなかにしっかりと位置付けていく考えはないか問う。

担当 広報広聴課

【答弁】市民の皆さんからは、「アニメや写真が載っているから、子どもが興味深く読んでいた」、「大人が見ても結構分かりやすい」など、総じて良い評価をいただいています。当面は、主に市政の各分野の施策等を分かりやすく情報提供することに主眼を置いて進めていきます。この夏に実施した子どもたちとの対話の中でも、子ども目線での多くのアイデアをいただき、今後の参考とさせていただきます。



12 高齢者対策について

質問者 前田 扶美子

質問 ますます拡大する高齢化社会を背景に、いま高齢者の孤独死が深刻な社会問題になっています。その解決の一手として、行政と地域住民の連携による「地域住民相談課」や「地域見回り隊」の結成など、もっとより具体的で草の根的な活動が実践できると思うのですが、今後の高齢者、ひいては孤独死対策について市のお考えをお聞かせください。

担当 高齢福祉課

【答弁】ひとり暮らし高齢者基本調査に基づき、身体状況などに不安の見られる方は、民生委員が、随時、見守り活動を行っています。また、配食サービスや友愛訪問などにより、安否確認や孤立感の解消を図っているほか、緊急時に119番通報ができる緊急通報システムの設置をしています。今後、地域における見守り活動の必要性はさらに高まっていくものと考えており、地域の共助による新たな見守り活動について研究していきます。



13 食育について

質問者 水野 義彦

質問 深刻な社会問題となっている「生活習慣病」をなくす為、社員食堂等でカロリーを抑えたヘルシーメニューを提供し、同時にその販売価格に上乗せした20円の寄付金を、発展途上国の学校給食として寄付する『TABLE FOR TWO』活動を市庁舎やホテルプラザ勝川のレストラン、あるいは商工会議所や大学等と連携し普及していく取り組みはできないか。

担当 経済振興課

【答弁】『TABLE FOR TWO』制度の普及には、企業等がこの制度へ賛同することの他、事業等へ参加できる食堂を所有しているなど、一定の条件が必要です。

このため商工会議所や大学等と連携した制度の普及につきましては、今後の企業等の参加動向を見ながら調査研究していきます。



14 高次脳機能障がいへの支援策について

質問者 後藤 正夫

質問 高次脳機能障がいとは、交通事故や頭部のケガによる脳外傷や脳卒中といわれる脳梗塞・脳出血などの脳血管障がいの病気により脳にダメージを受けることで生じる認知障がい、行動障がいなどの症状を言う。「見えない障がい」と呼ばれ周囲に誤解を生じる。高次脳機能障がいについての認識と対応について、また今後の研修と各関係機関との連携を問う。

担当 障がい福祉課

【答弁】高次脳機能障がいは、社会生活を営むのに支障を来すことがあると承知しています。窓口での対応では、個々の相談に応じて、必要な福祉サービスが受けられるよう支援を行っています。今後、この障がいが持つ特性をより深く理解するよう、県主催の高次脳機能障がいに関する研修に参加するとともに内部研修の実施を考えています。また、専門機関や関係機関との連携の方法についても研究していきます。



15 豪雨時の排水対策について

質問者 宮地 ゆたか

質問 近年ゲリラ豪雨が各地で大きな被害を引き起こしています。本年7月15日には市内の限られた地域で大雨が降りました。消防北出張所で時間最大39ミリ、南出張所では2.5ミリでした。各所で浸水等の被害を受けました。鷹来中学校区の多くの地点はこれまでも度々被害を受けています。短期に改修が出来ない所もありますが、今後の対策と見通しを問う。

担当 河川排水課・企画経営課・下水建設課

【答弁】本市は、平成19年度から概ね10年に1度の確率の時間雨量63ミリに対応する排水路整備を進めており、桃山地区や町屋地区についても排水路整備をすることとしています。今後も排水路整備など各地区の浸水被害軽減に努めていきます。また、大手地区については、朝日出公園に雨水調整池を築造するとともに、大手ポンプ場からの接続管を増設するほか、今後は公共下水道基本計画の見直しの中で総合的な減災対策を検討していきます。

その他の質問事項 生活保護の電気代補助等について 生活保護の老齢加算の復活について 自動販売機設置について

16 学校に営繕職員を配置することについて

質問者 内藤 富江

質問 派遣切りなどによって、仕事を失った方に雇用機会を創出するため、緊急雇用創出事業制度を活用し、学校施設の除草や側溝の浚渫作業を行うなど、教育現場の多忙化を解消するために効果を生んでいる。この事業は3カ年という期限付きであるが、23年度も継続することと合わせ、事業が終了した後も職員を配置し、教員の多忙化を解消していくべきではないか。

担当 教育総務課

【答弁】平成21年度に、市内小中学校20校において緊急雇用創出事業を活用し「学校施設の除草及び側溝の浚渫」作業を行い、本年度も34校の小中学校で行うこととしました。平成23年度も引き続きこの制度を活用し、平成24年度以降においても、教員の負担軽減を図るため、財政状況や学校のニーズを勘案する中で、より効率的な学校施設の維持管理の方策を検討していきます。

その他の質問事項 市内の過大小中学校の適正について 小学校の卒業記念品について

17 国民健康保険事業について

質問者 内田 謙

質問 国保（国民健康保険）には、零細な自営業者や退職者、派遣切りに合った人など所得の低い人が多く加入している。国保税は、国庫負担の大幅削減などで、加入者への値上げとなって負担が押しつけられている。地域を回ると、「国保税が高い。何とかしてほしい」という声をよく聞く。国保税を引き下げる考えはないか問う。

担当 保険医療年金課

【答弁】医療の高度化、高齢者の増加などによる医療費の増加や景気低迷の影響による税収入の減少など、今後、国保財政は、さらに厳しさを増していくと予測されるため、保険税の引き下げは極めて困難と考えています。事業の運営にあたっては、国の制度改正の動向に注視するとともに、今後の収支見通しをさらに精査するなかで、どのような対応を行うのか、慎重に検討していきます。

その他の質問事項 健診事業について 予防接種について

18 環境問題について

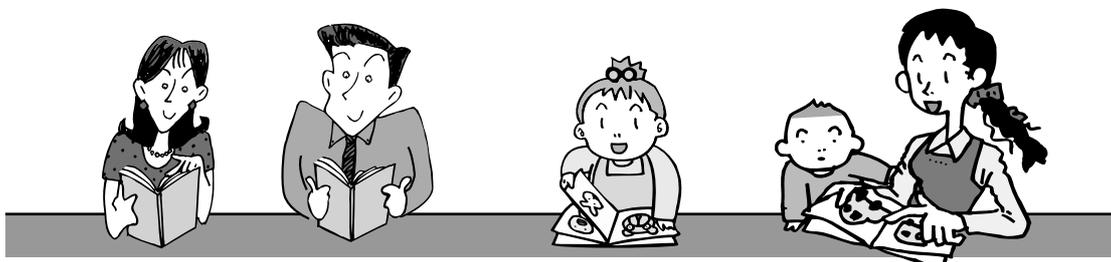
質問者 伊藤 隆司

質問 今、環境問題COP10が報道機関等で連日取り上げられ、地球の水は有限な資源であると位置付けられてきました。最近「安全・安心」な納豆菌を使用して、従来のように新たに菌を追加する必要もなく、水を浄化するシステムが注目されています。無駄なエネルギーを使わず、費用対効果上安価でクリーンな方法でもあるこの方法を導入することについてを問う。

担当 環境政策課

【答弁】納豆菌を入れたコンクリートをブロックにして川底などに並べ、微生物の浄化作用により維持管理費をかけずに水質浄化を図ることができるのではないかと最近注目されています。施工例として水路や観賞池などがありますが、実証実験がほとんどであり、今後、河川や池での導入事例を情報収集するなどし、耐久性や効果面などについて調査研究していきます。

その他の質問事項 福祉問題について 市民病院について 医療費削減について



市議会のホームページ

市議会のホームページでは次のような情報をご覧いただくことができます。



市議会議員名簿 提出議案・請願一覧 一般質問事項一覧
市議会だより 市議会の予定 本会議の会議録 など

【アドレス】

<http://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/>
春日井市のホームページからアクセスしてください。

傍聴のお知らせ

市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。
平成21年では、本会議には年間で延べ228人の方が、委員会には年間で延べ122人の方が傍聴にお越しただいております。

皆さんも是非、議会の傍聴にお越しください。

また、本会議の開会中は市役所 1 階市民ホールに設置したテレビで、本会議の様子をご覧になることもできます。

【本会議を傍聴される方】

本会議は通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は本庁舎 5 階の議場傍聴席入口にお越しください。定員は88名で、うち車いす席は 6 席です。

【委員会を傍聴される方】

常任委員会は通常午前 9 時に開会します。当日の午前 8 時30分から午前 8 時45分までに市役所 3 階議会事務局にお越しください。定員は 5 名で定員を超えた場合は抽選により決定します。



道風くん



平成22年第 5 回定例会予定

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 11月30日(火) 10:00 ~ | 本会議 (提案理由説明) |
| 12月 2日(木) 10:00 ~ | 本会議
(質疑、委員会付託) |
| 12月 6日(月) 9:00 ~ | 文教経済委員会 |
| 12月 7日(火) 9:00 ~ | 厚生委員会 |
| 12月 8日(水) 9:00 ~ | 建設委員会 |
| 12月 9日(木) 9:00 ~ | 総務委員会 |
| 12月13日(月) 10:00 ~ | 本会議 (一般質問) |
| 12月14日(火) 10:00 ~ | 本会議 (一般質問) |
| 12月16日(木) 10:00 ~ | 本会議 (採決) |
- 議事の都合により、日程が変更になる場合があります。問い合わせ 議事課 (☎ 85 - 6492)

編集後記

今年の夏は異常なほどの暑さが続き、猛暑のため熱中症にかかった人も大変多くおみえでした。しかし季節は秋となって、これから寒い冬を迎えます。

社会経済は依然として底冷えしており、景気回復に対する先行きも不透明で、各自治体に及ぼす影響も大変大きいものと思われます。

そのような中での第 4 回定例会は、平成21年度の決算や議案、請願など、一般質問では18名の議員が市政について議論を行いました。

晩秋を迎え寒さが徐々に厳しくなりますが、健康にご留意されますようお願いいたします。

編集委員一同

